

# 臨時会

5月26日に第409回市議会臨時会が招集され、次の議案が提案されました。

◎第30号議案・専決処分の承認を求めることについて(専決第1号)(白石市市税条例等の一部を改正する条例)

承認

おもな改正内容は、高所得者層の給与所得控除の見直し、法人税割税率の引き下げ、軽自動車税の課税見直し等がされました。

〔質疑〕給与所得控除の上限の引き下げについて、白石市で影響を受ける対象者はどのくらいいるのか。

〔答弁〕白石市の給与所得者で1千万円以上の方は139名ほどである。

〔質疑〕軽自動車税の増税による地域経済への影響はどのように考えているのか。

〔答弁〕来年度の時点で約460

万円ほどの収入増を見込んでいる。その影響については、国の車体課税の抜本的見直しにより、自動車取得税等の見直しとともに軽自動車税も見直しを図られたため、その負担をお願いすることになる。

◎第31号議案・専決処分の承認を求めることについて(専決第2号)(白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例)

承認

おもな改正内容は、国保税の課税限度額の引き上げと2割・5割軽減の軽減判定所得の見直し等がされました。

◎第32号議案・専決処分の承認を求めることについて(専決第3号)(平成25年度白石市一般会計補正予算)

承認

都市整備基金や財政調整基金の積立金を増額する一方、事業費確定により、放射能対策費や街路事業費等を減額し、全体で2億5千780万6千円の予算額を減額しました。

◎第33号議案・専決処分の承認を求めることについて(専決第4号)(平成26年度白石市一般会計補正予算)

承認

2月の大雪被害による被災農業用施設の再建及び撤去に関する費用を増額し、全体で2億2千827万8千円の予算額を増額しました。

◎第34号議案・専決処分の承認を求めることについて(専決第5号)(平成26年度白石市一般会計補正予算)

承認

焼却灰仮置き場設置のため測量設計業務費用を増額し、全体で467万9千円の予算額を増額しました。

◎第35号議案・平成26年度白石市一般会計補正予算(第2号)

原案可決

白石市土地開発基金で先行取得していた旧みやぎ仙南農業協同組合白石市地区本部用地を基金から買い戻すための土地購入費を増額する一方、学校給食センター新築移転に

に伴う工事費等は、事業者が決定し、工期が平成27年7月末日となり、支払いが工事完了後となるため減額し、全体で11億6千736万6千円の予算額を減額しました。

## 討論

第30号議案・専決処分の承認を求めることについて(専決第1号)(白石市市税条例等の一部を改正する条例)については、次のとおり反対の討論があり、採決の結果、賛成多数により承認されました。

反対

水落 孝子

本条例は、地方税法の本年4月1日からの施行に係るものですが、この条例の改正により、4月1日からの消費税増税のもとで、市民の暮らしはますます苦しくなり、地域経済の好循環を実現することは考えられない。

法人税の地方法人課税の偏在是正は、消費税増税に絡ん

で、不交付団体である東京都からの強い要望によるものである。

所得税の給与所得控除の上限の引き下げについては、一千万を超えるサラリーマンのものである。今回の改正では、一般サラリーマンの増税は見送られたが、女性が社会に出て働きやすくなるため、配偶者控除の廃止等が検討されている。今後の政府の狙いが、さらなる給与所得控除等の見直しに行くことは十分に考えられ、大きな不安を感じている。

自動車関連税制については、国内の自動車販売台数を拡大させている軽自動車への増税は、経費を削るため軽自動車に乗り換えてきた庶民に、重い負担を課すものである。消費税増税の上に、自動車取得税の減収の見返りとして、軽自動車税を増税することは、まさに二重の弱い者いじめと言わざるを得ないと考ええる。これらの理由から第30号議案に反対である。